

開館記念企画展 第6弾

明日を生み出す力

親鸞

高田本山

専修寺せんじゅじの

至宝

2015
3/21 (土・祝) > 5/10 (日)

●企画展観覧時間：午前9時～午後5時※土・日・祝日は午後7時まで（最終入場は、閉場の30分前まで）●休館日：3月23日（月）・30日（月）・4月6日（月）・13日（月）・20日（月）・27日（月）・5月7日（木）●主催：三重県総合博物館・真宗高田派本山専修寺●後援：津市・津市教育委員会・三重県指定文化財等所有者連絡協議会・三重県博物館協会・朝日新聞社・伊勢新聞社・産経新聞社・中日新聞社・日本経済新聞社・津支局・毎日新聞社・夕刊三重新聞社・読売新聞社・ケーブルコモンネット三重・CBCテレビ・中京テレビ放送（株）・三重テレビ放送・メ〜テレ・東海ラジオ放送・三重エフエム放送●公益財団法人 岡田文化財団助成事業●期間中、展示資料の展示替えがあります。各資料の展示期間については、三重県総合博物館のホームページ、またはお電話にてお問い合わせください。

親鸞



○ 親鸞の自筆 重要文化財 写真複製品と専修寺蔵 ○ 指定文化財 親鸞聖人生像（専修寺蔵）

環濠と寺内町に囲まれ、重要文化財に指定された建築が13棟並び立ち威容を誇る真宗高田派本山専修寺。江戸時代以来、全国から訪れた参詣者はその巨大な伽藍に目を見張ったことでしょう。しかし、専修寺の誇るべきは、この建物だけにとどまりません。専修寺には、「専修念仏」を推し進め、後の日本仏教界を大きく動かす思想を生み出した親鸞と弟子たちが書き記した鎌倉時代以来の聖教・書物類が多く伝えられ、その唯一無二の価値から、それらの多くが国宝や重要文化財に指定されています。また、真宗高田派の他の寺々にも、親鸞とその弟子たちの足跡を示す品々が伝わっています。

平成27年春は、親鸞が直拝したという一光三尊仏が一身田の本山で「御開扉」される「中開帳」の時期にあたります。このたび親鸞とその弟子たちが活躍した地、関東から17年に一度お越しになる一光三尊仏の一身田での「御開扉」にあわせ、三重県総合博物館開館記念企画展の第6弾として「親鸞 高田本山専修寺の至宝」を開催することになりました。

歴史のうねりを越えて伝わった、鎌倉時代以来の歴史や美を伝えるこれらの品々を通して、親鸞とその弟子たち、そして真宗高田派の歴史に、思いを馳せてみてはいかがでしょうか。



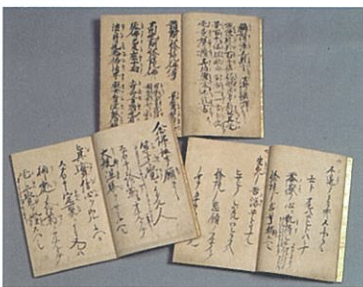
国宝／西方指南抄(さいほうしなんしょう)／鎌倉時代
◆親鸞真筆による法然の伝記



重要文化財／阿弥陀三尊像(あみださんぞんぞう)／鎌倉時代



県指定文化財／真慈上人像(しんねしやうにんぞう)／室町時代◆関東から伊勢国一身田にお越しになった高田派第10世



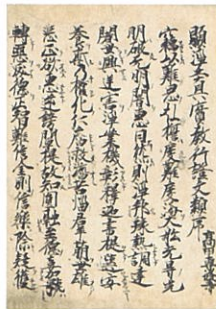
国宝／三帖和讃(さんじやうわさん)／鎌倉時代◆「不遇ノ位スマヤカニ」とあらわされている



紺地十字名号副本(こんじじゅうじみょうごうふくほん)／南北朝時代◆専修寺の堂舎が古くから大きかったことを示すという



一光三尊仏(いっこうさんぞんぶつ)／旧光寿寺所蔵
◆一光三尊仏をはじめ各高田派寺院が所蔵する貴重な品々もあわせて展示



重要文化財／顕浄土真実教行証文類(けんじやうどしんじつきやうぎやうしやうもんるい)◆親鸞の主要著作



専修寺の巨大な御影堂内の様子

【関連行事】

◆連続講座

真宗の仏像や歴史、高田本山の文化財についてお話をいただきます。各定員80名

[1]4月12日(日)午後2時00分～

西岡 芳文氏:神奈川県立金沢文庫学芸課長
「初期真宗の成立と展開」

[2]4月19日(日)午後2時00分～

津田 徹英氏:東京文化財研究所企画情報部文化形成研究室長
「親鸞の念仏と真宗の本尊」

[3]5月3日(日)午後2時00分～

新光晴氏:高田本山専修寺宝物館主幹
「高田本山の法宝物の魅力」

◆学芸員の話

「仏像の話 一光三尊仏について」

4月29日(水・祝)午後2時00分～

【関連行事】は事前申し込みが必要です。往復ハガキ、電子メールにて<聴講希望の講演会の番号(複数希望可)>または<学芸員の話希望>と記入の上、参加者全員の名前、年齢、郵便番号、住所、当日連絡がとれる電話番号を記入し応募してください。開催日の2週間前必着(定員に満たない場合は当日まで募集を延長、希望者多数の場合は抽選、結果は、ハガキの方は返信ハガキにて、メールの方は返信メールにて、締切日から1週間の間にご連絡します)。1件で申し込めるのは、4名までです。三重県総合博物館「親鸞」展係までお申し込みください。

◆ギャラリートーク

3月21日(土)、29日(日)、4月5日(日)、18日(土)、5月4日(月・祝)
各日午後1時30分から

当日受付、事前申し込み不要。企画展の観覧券が必要です。

◆同時開催 交流展示「荘厳と静寂の回廊」

3月28日(土)～5月10日(日)

高田本山の色とりどりの四季を収めた写真の展示
大型モニターによる映像展示

巨大な高田本山の立華の実物展示(生け花の一種、立華の設営作業を公開予定。詳細はMieMu公式HPにて)
場所:2階交流展示室

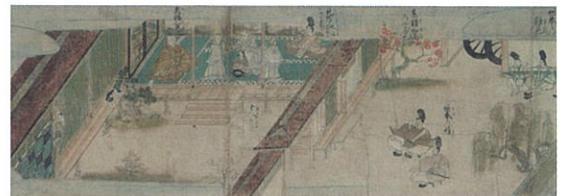
観覧料:無料

◆高田本山専修寺とMieMuを両方楽しむ日～無料シャトルバス運行

4月4日(土)、5日(日)午前9時00分～午後5時00分

真宗高田派本山専修寺とMieMuの間でシャトルバス運行予定です(詳細はMieMu公式HPにて)。

13棟の重要文化財に指定されている、専修寺の建築と、MieMuの展示をともにお楽しみください。



重要文化財／親鸞聖人伝絵(しんらんしやうにんでんえ)／南北朝時代◆伝絵でたどる親鸞の一生

期間中、展示資料の展示替えがあります。各資料の展示期間については、三重県総合博物館のホームページ、またはお電話にてお問い合わせください。

観覧料金

	親鸞展	基本展示とセット観覧券	基本展示
一般	800円(640円)	1,040円(830円)	510円(400円)
学生以下	480円(380円)	620円(490円)	300円(240円)
高校生以下	無料	無料	無料
年間パスポート(すべての展示フリーパス)	一般1,640円/学生1,020円		

()は20名以上の団体制料金。身体障害者手帳等をお持ちの方とその付添の方1名様は観覧料無料となります。毎月第3日曜日は家庭の日で、正規観覧料の2割引きでご覧いただけます。

MieMu 三重県総合博物館

みえむ MieMu: Mie Prefectural Museum, Japan

三重県津市一身田上津部田3060(三重県総合文化センター向かい) 〒514-0061
tel 059-228-2283(代表) fax 059-229-8310 mail MieMu@pref.mie.jp
web http://www.bunka.pref.mie.lg.jp/MieMu/
twitter @mie_pref_museum
facebook https://www.facebook.com/mie.pref.museum

【開館時間】午前9時～午後7時※展示エリアは、平日午後5時まで、土・日・祝日は午後7時まで(最終入場は、閉場の30分前まで)【休館日】3月23日(月)・30日(月)・4月6日(月)・13日(月)・20日(月)・27日(月)・5月7日(木)【アクセス】公共交通機関:津駅(近鉄名古屋線、JR紀勢本線、伊勢鉄道)西口下車、津駅西口から三重交通バス(「総合文化センター行き」「夢が丘団地行き」)約5分、「総合文化センター前」下車/徒歩:津駅西口から約25分/自動車:伊勢自動車道「津IC」から約10分、「芸濃IC」から約15分

